

飛鳥

古きもの
明日のもの

2021年
春から
夏へ
No.12



明日香川、石橋を渡って（稲淵）

作者未詳（巻十一―二七〇）

※
明日香川を明日も渡って行こう。
私はあなたに対して、
明日香川の石橋のように遠く離れている
ようなつれない気持ちなどもっています
んよ。

明日香川 明日も渡らむ

遠き心は 思ほへぬかも

石橋の



夏の暮れと女郎女（八約）

写真／加藤秀行

昔から川の浅瀬には橋の替わりに飛び石を置いて対岸との往来をしていました。
この歌は「この踏み石は遠く離れている」けれど「私はあなたに愛想をつかしたのではないですよ」と歌っています。
今も昔も恋の悩みはつきません。恋人との誤解が生んだ行き違いの心を歌に託して表現しているのでしょうか。

※明日香川・・・全長約30km。多武峰山系に源流を發し、村内の相森や稲淵の山をくぐり抜けて村の中心部を曲折しながら大和川と合流して、大阪湾に注いでいます。万葉集には明日香川を詠んだ歌が26首あります。



中尾山古墳の石槨

（明日香村文化財課 辰巳俊輔）

中尾山古墳の発掘調査が実施され、飛鳥時代における大王墓の特徴である八角墳であることや骨蔵器を納めたと考えられる火葬墓であることが改めて明らかとなりました。特に火葬墓については、飛鳥時代でも限られた人物しか埋葬されていないことから、被葬者を考える上でも重要な事象といえます。

日本で最初に火葬された人物は「続日本紀」によると僧の道昭とされています。道昭は『西遊記』で有名な三蔵法師のモデルとなった玄奘の弟子として中国で修行した人物で、帰国後は仏教の普及や人材の育成に精力を注ぎました。道昭は七〇〇（文武天皇四）年に七二歳で亡くなり、粟原の地で火葬されました。世の伝えでは、火葬が終わったあと、親族や弟子がその遺骨をめぐる争っている、にわかにつむじ風が吹き、遺骨や遺灰が消えてしまい、世間の人々は不思議がったとされています。このように最初の火葬については、詳細な記録があるとともに、不思議な伝承が伝えられており、日本の墓制を考える上でも重要な画期といえます。

明日の明日香へ



日本最初の火葬



古都飛鳥保存財団創立50周年記念
『飛鳥への招待』 発刊

このたび『飛鳥への招待』（中央公論新社）を發刊しました。飛鳥学冠位叙任試験問題作成委員会の各委員による著作です。

第1部は「飛鳥学」。古代史・考古学・万葉学・民俗学の各分野の委員が古都飛鳥の歴史を語ります。2017年から3年間にわたる読売新聞の連載に加筆しました。第2部は「古都飛鳥の百年、これからの飛鳥」。発掘調査や展示、研究にたずさわる5名の座談会です。飛鳥京跡苑池、藤原宮大極殿の最近の話題についても採り上げました。第3部は「飛鳥見て歩き」。飛鳥を学び知る旅へ誘う紀行です。宮殿・寺院、古墳、万葉故地にちなむ3コースです。

さて、本年、古都飛鳥保存財団は創立50周年を迎えます。そして明年は高松塚古墳の壁画発見から50年、さらには世界文化遺産の登録準備が進められています。本書の刊行は時宜を得たものとなりました。飛鳥は新たな時代に入りますが、本書が飛鳥を学ぶ多くの人々の手引きとなることを願っています。

（飛鳥学冠位叙任試験問題作成委員
代表委員 今尾文昭）

このたび『飛鳥への招待』（中央公論新社）を發刊しました。飛鳥学冠位叙任試験問題作成委員会の各委員による著作です。

第1部は「飛鳥学」。古代史・考古学・万葉学・民俗学の各分野の委員が古都飛鳥の歴史を語ります。2017年から3年間にわたる読売新聞の連載に加筆しました。第2部は「古都飛鳥の百年、これからの飛鳥」。発掘調査や展示、研究にたずさわる5名の座談会です。飛鳥京跡苑池、藤原宮大極殿の最近の話題についても採り上げました。第3部は「飛鳥見て歩き」。飛鳥を学び知る旅へ誘う紀行です。宮殿・寺院、古墳、万葉故地にちなむ3コースです。

さて、本年、古都飛鳥保存財団は創立50周年を迎えます。そして明年は高松塚古墳の壁画発見から50年、さらには世界文化遺産の登録準備が進められています。本書の刊行は時宜を得たものとなりました。飛鳥は新たな時代に入りますが、本書が飛鳥を学ぶ多くの人々の手引きとなることを願っています。

（飛鳥学冠位叙任試験問題作成委員
代表委員 今尾文昭）

四六版ソフトカバー
329P
本体1,900円（税別）

発行・お問合せ 公益財団法人 古都飛鳥保存財団 〒634-0138 奈良県高市郡明日香村大字越13-1
TEL : 0744-54-3338 FAX : 0744-54-3638 E-mail : info@asukabito.or.jp HP : http://www.asukabito.or.jp

日本人の心のふるさと ～その保存と未来のために～

明日香×長谷工 古民家再活用！

こんにちは、長谷工コーポレーションです。当社で以前から進めてきた明日香村での「古民家再活用プロジェクト第一弾」が、今年いよいよお披露目のカウントダウンに入りました。今回はこれまでの当社グループの明日香村での取り組みもあわせてご紹介させていただきます。

明日香村のお付き合いは、村でとれた野菜を当社グループが管理するマンションで販売させて頂いたことがきっかけでした。そのことを通じて明日香村の人口減少、空き家問題、宿泊施設不足など様々な課題をお聞きし、お力になればと応援活動を始めました。観光以外にも常時多くの方に来村頂けるよう貸農園「長谷工明日香コミュニティファーム」を2018年に開業。「企業版ふるさと納税」や「飛鳥ハイマランオンライオン2021」への特別協賛など、明日香村を「堪能する」「経験する」「居住する」をテーマに活動してきました。

そして今年2021年、大字飛鳥にて築150年の古民家を宿泊施設に改装しオープン致します。歴史的建造物の保存とあわせ、村内の宿泊施設不足、空き家問題の解決に少しでもお役に立てればと考えております。明治3年に建築された古民家の行まいに、信楽焼最大級の浴槽をはじめ、広々とした専用庭の風景、古民家と現代建物の融合を是非皆様自身で体感してください。オープンは先になりますが、乞うご期待くださいませ！

〈長谷工明日香コミュニティファーム〉



～週末は飛鳥人～ 親子で夏野菜の収穫イベント



こちらが目印です！ 美しい自然が迎えてくれます

〈古民家再活用の宿泊施設〉



静寂を楽しめるこだわりの庭園。夜の風情にも魅了されます。



築150年の記憶と現代の技術を取り入れた広々とした室内。

〈お問い合わせ先〉

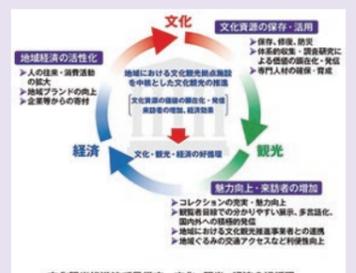
株長谷工コーポレーション 関西明日香村PJ推進室 06-6203-2561 担当者宛



令和2年5月に文化観光推進法が施行されました。この法律は、計画に基づく取組が、宿泊者数や観光客数の増加など地域を活性化し、地域全体が改めて歴史文化資源の意義やその保存の重要性を認識することで、さらなる事業の展開や適切な文化財保護に繋がることを期待するものです。

明日香村では、法律に基づき県が主体となった「いかす・なら地域計画」と村が主体となった「明日香まるごと博物館地域計画」の2つの計画が認定されています。「いかす・なら地域計画」では、北和地域に偏りがちな訪問客を南和地域へ誘導することを課題として挙げ、万葉文化館などの文化観光拠点施設が有する専門知識を活用した事業の展開が見込まれます。一方、「明日香まるごと博物館地域計画」では、歴

史文化を含めた地域内の観光資源を磨き上げ、新たな価値を創出していくことを課題として挙げ、日本国誕生の軌跡を物語る飛鳥宮跡などの遺跡や牽牛子塚古墳などの古墳といった、世界遺産構成資産候補15資産のうち9資産を文化観光拠点施設として位置づけ、「みがく魅力の増進」「つくる受入体制の整備」「しらせる情報の発信」といった取組を計画しています。例えば「みがく」では、古代における東西アジアとの交流を想起でき飛鳥時代の空間を体感できる機会の創出、「つくる」では、ゲートウェイ機能の充実や村内のキャッシュレス化の促進、「しらせる」では、早朝・夜間等の通常の開館時間以外を活用した飛鳥の魅力再発見ツアアの創出、「しらせる」では、これ



(明日香村総合政策課 課長 木治達也)

までの発掘調査成果の情報をデジタル化し、魅力をさらにわかりやすくかつ容易に入手できる機会の創出を図っていきます。

「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録や、2025年の日本国際博覧会（大阪・関西万博）を視野に入れ、訪日外国人旅行者が興味を持ち、訪れてもらえる地域を目指します。それにより地域が潤い、その結果、文化

思

私と飛鳥



明日香とつながる縁

大人になってからは、たとえ気付いた事があるんです。幼い頃、歴史好きの父がよく読んでくれた本が、弥次喜多の『東海道中膝栗毛』と『古事記』であったんだ。・・・という事。

どちらもアレンジを加えて、子供にも分かり易く話してくれました。それが、私を歴史好きにした原点だと思います。小学生の頃は毎年「正倉院展」に足を

運び、奈良公園で「鹿せんべい」をあげるのが楽しみでした。高校時代は「歴史クラブ」に所属し、考古学研究所で写真整理や鉄剣の鏽落しのバイトも経験しました。当時、高松塚古墳が発見されたばかりで、ワクワクしながら見学に行ったのも憶えています。そして結婚して明日香村に住むことに・・・嬉しくて楽しくてしよっちゅう村内を歩き回りました(笑)

飛鳥駅に來られた方が私達の植えたお花の前で写真撮影をされてるのを見ることが嬉しくなります。これからも仲間と一緒に駅前で見守っていただける雰囲気づくりに携わっていただける事を願っています。



2月「カリコリ大根」出荷作業

しかし、この機会を再出発のチャンスと捉え、コロナ禍での新しい時代に沿った持続可能な事業運営を目指し、歴史的風土の保存と創造的活用への推進に向けて努めて参る所存です。創立五十周年を迎える節目に、飛鳥保存に関わられた先達の熱い想いをしっかりと受け継ぎ、次の半世紀へ向けて着実に歩みを進め、「日本人の心のふるさと」飛鳥を次代に継承すべく意を新たに取組んで参りますので、皆様方の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人 古都飛鳥保存財団 理事長 和田林 道宜



～「こだわり」と「ゆるさ」が共存したカフェで旬の野菜をたっぷりと～

近鉄飛鳥駅から北に徒歩1分。店先でシンボルツリーの「五葉松」が迎えてくれる「Matsuyama Cafe」はオープンして3年目。築80年の木造倉庫を自らリノベーションした店内は天井が高く、古材をパッチワークに組んだ仕切りや、古民家の梁を使ったカウンターなど、古いものを最大限に利用した木の空間が落ち着いて居心地が良い。



「目指したいのは「よそいき」ではないお店です。行き易く「ゆるゆる」と好きな時間を過ごしてもらえ場所を作りたいです。」と店主の松本昌さん。

『人生最後のチャンス』という気持ちでマックスになった時、生まれ育った明日香で好きなものに囲まれ、気負いのない場所を見つけた。

この日のランチは揚げ玉を衣にしてサクッと仕上げたソシラライのチキン南蛮に春菊オムレツ、グリル野菜と彩りサラダに黒米ご飯。スープには厚切り大根がゴロリと入る。どれも手間と時間がかけられていて、連日満席というもうなずける。店主の笑顔や人柄もおいしさのスパイスに。おススメです。



旬野菜がたっぷりのワンプレート。 ¥1,350円 (税込)



店主の松本さん(右)とスタッフの堀口さん

メニュー...手作りベーグルとキッシュランチ。大和郡山の「K COFFEE」の珈琲と手作りケーキも人気。※ランチは予約がベター

0744-35-1003 住 明日香村越2-1-1 営 平日 11:00~17:00 (L.O.16:30) 土・日・祝 11:00~18:00 (L.O.17:30) 休 水曜、第2・第3火曜 駐 あり ※コロナ対策 万全です

Restaurant introduction

編集後記

毎朝、家の前で見掛ける人がいます。夕方、散歩に出ると必ず擦れ違う人がいます。決まった時間に、決まった場所です。決まった時間に見掛ける人。お互いに名前も知らず、ほんの少しだけ交わる時間だけど、その時々に出会う人を見て、時間の目安を知る事が出来ます。私はその出会いを「人時計」と呼んでいます。今年一月から飛鳥駅は無人駅になりました。こんな所までコロナの影響があるなんて悲しい限りです。そんな中、駅前に四神を描いた時計塔が設置されました。正確な時間を知らせてくれる念願の時計です。時間が刻々と流れ、皆が自由に外出できる日常が戻ってくる事を心から願っています。



新子 信子



私たちは 古都飛鳥保存財団の活動を 応援しています

